

山口県の地勢・概況

本州の最西端に位置する山口県は、三方を海に開かれ、約1,580kmに及ぶ長い海岸線は半島や島が多く、穏やかな景勝美を持つ瀬戸内海、山陰の荒波により形成された浸食海岸美の日本海に分かれており、約240の島々が点在しています。また、中国山地の西端を形成する内陸山間地においても緑と狭谷美を合わせもち、四季折々に変化する美しさを見せています。

平成23年4月1日現在、本県は13市6町、人口約144万人（統計分析課）、面積約6,114km²で構成されています。また、人口の約7割は山陽側に集中しており過疎化の進む山陰側は高齢者の占める割合が高くなっています。瀬戸内海沿岸は一連の臨海工業を中心に発展を続けており、連鎖的な都市の形成を見せ、日本海沿岸及び内陸部は観光及び農林水産業が主体となっており、海山の特産品を活かした民芸品、郷土料理等は、訪れた人の目や口を楽しませていきます。

市町別面積・人口

面積	6,113.89 km ²
人口	1,443,952 人
世帯数	596,677 世帯

面積：H21.10.1現在（国土地理院調）
人口・世帯数：H23.4.1現在（山口県統計分析課調）



主な河川			主な湖沼			主な山岳		主な島	
河川	流路延長 (km)	流域面積 (km ²)	湖沼	満水面積 (km ²)	最大水深 (m)	山岳	標高 (m)	島	面積 (km ²)
1 錦川 (二級河川)	110.3	884.2	1 常盤湖	0.81	10.4	1 寂地山	1,337	1 屋代島	128.43
2 阿武川 (二級河川)	82.2	694.8	2 長沢の池	0.30	5.0	2 右谷山	1,234	2 平郡島	16.62
3 厚東川 (二級河川)	59.9	405.3	3 万年池	0.24	8.6	3 小五郎山	1,162	3 青海島	14.95
4 佐波川 (一級河川)	56.5	446.0	4 青海湖	0.24	2.0	4 羅漢山	1,109	4 長島	13.73
5 厚狭川 (二級河川)	43.9	251.8	5 江汐池	0.14	8.0	5 弟見山	1,085	5 笠戸島	11.77

山口県のシンボル



鳥 ナベヅル

周南市八代に10月飛来、3月に去る。鳥獣審査会選定。(昭和39年10月13日指定)



魚 ふく

県内で水揚げされる魚の代表種であり本県の歴史とのかかわりも深い。県の魚選定委員会が選定(平成元年8月26日指定)



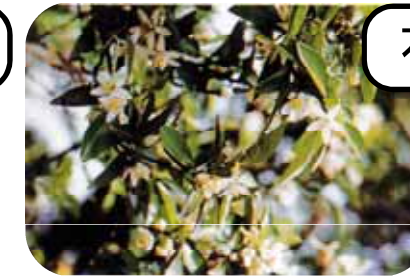
木 アカマツ

県内いたるところにあり、県を象徴するにふさわしい。県木審議委員会が選定。(昭和41年9月14日指定)



獣 ホンシュウジカ

華山、天井嶽周辺に主として生息している。鳥獣審議会選定。(昭和39年10月13日指定)



花 夏みかんの花

日本では山口県が原産地である。郷土を象徴する花としてNHKが選定。(昭和29年3月22日発表)

主な観光地



県北部
萩城下町(萩市)
松陰神社(萩市)
青海島(長門市)
湯本温泉(長門市)
秋吉台・秋芳洞(美祿市)

県東部
錦帯橋(岩国市)
白壁の町並み(柳井市)

県西部
海響館(下関市)
角島灯台公園(下関市)

県中部
瑠璃光寺五重塔(山口市)
湯田温泉(山口市)
防府天満宮(防府市)

平成22年観光客数

錦帯橋(岩国市)	716千人
防府天満宮(防府市)	590千人
秋吉台・秋芳洞(美祿市)	770千人
松陰神社(萩市)	588千人
海響館(下関市)	885千人